峰山市民局NEWS　《第74号》

令和８年11月9日発行

ハロー Hello峰山

（峰山市民局：0772-69-0711）

市HP内掲載記事へ

	R8.8末	R8.9末	前月比
0歳～14歳	1,241	1,232	−9
15歳～64歳	6,001	6,013	+12
65歳～	3,831	3,827	−4
合計	11,073	11,072	−1

月の輪田収穫祭

秋祭りも終わり絶好の秋晴れとなった10月18日、一箇の月の輪田で古代米の収穫祭が行われました。

5月の田植え式に続き、今回も元プロボクサーで日本人初の世界３階級制覇王者の亀田興毅氏を迎え、多くの区民と一般の参加者が汗を流しました。

刈り取られた稲は稲木干しを経て脱穀、精米されて地元の学校給食にも提供されます。



全員が手で刈り取っていきます



天女伝説の磯砂山をバックに…



左から大木区長、亀田興毅氏、中山市長



腰への負担がMAX

ヘラクレスオオカブトの幼虫を展示しています





一番大きな幼虫は１００mm以上



1号館1階のロビーで展示しています

6月に福島県田村市で開催された「クワガタサミット」に昆虫をこよなく愛する俳優の伊藤英明氏がトークパートナーとして参加されていました。京丹後市はオブザーバーとして参加しましたが、このたび映画撮影で当地を訪れられたご縁から、市にヘラクレスオオカブトの幼虫6匹を寄贈頂きました。

京丹後市では、人と昆虫が生き生きと共存するまちづくりプロジェクトの始動に向け地域おこし協力隊も募集しています。

ヘラクレスオオカブトは世界最大のカブトムシで、成虫になると１８０mm以上になります。11月末までの展示期間を終えると越冬のため一時お別れとなります。成虫になった姿をお披露目できる日を楽しみに温かく見守ってください。

新コミュ

発足後１年を経過した８地区の地域づくり協議会の活動を順にご紹介しています

第4弾　吉原地区地域づくり協議会

吉原地区は安・西山・小西・菅・新治の５つの区から成り、９月末での世帯数は1，049戸、人口は2，375人、高齢化率は33パーセントとなっています。

旧吉原小学校区で１つの地区ですが、区ごとの世帯数も大きく異なり、抱える課題も様々です。当初は新しいコミュニティが果たす役割は何なのかを模索する１年でもありました。

協議会の通称名である「シン・よしわら」の「シン」には、新・信・真・伸・親・・・など吉原地区の地域づくりの根幹となる意味が込められており、子どもからお年寄りまでが集える様々な企画が用意されています。

定期的に開かれる大人のマルシェは、カフェや物づくり、健康教室やコンサートなど多岐にわたります。対象を子どもに限定して行なわれる子どもマルシェもあり、拠点となる新治公民館は常に活気に満ち溢れています。



マルシェの様子



靴の数を見れば賑わいがわかる

普段できない遊びもこの広さなら



夏休みや月１回の子どもマルシェでは、ボードゲームやドミノ倒し、バトミントンなど自由気ままな遊びと、ボランティアによるマジックショーなど盛りだくさんの企画で子どもたちの笑顔がはじけていました。

大人と子どもの交流イベントとして、「わくわく体験ツアー」や「ボウリングフェスタ」なども行われます。昨年大好評だったボウリングの参加賞には地元産の新米や野菜、カニなど旬の食材が並び、順位に関係なくくじ引きでゲットできるようにしました。



年寄りの言うことは聞くもんだ



親子での調理は楽しいものです

通学合宿はコロナ前までオリーブの会が実施されていましたが、今回吉原地区地域づくり協議会の主催で再開されました。18名の希望者が新治公民館で寝食を共にし、通学しました。

この合宿の卒業生でもある高校生や多くのボランティアに支えられ、5泊6日の合宿でちょっぴり成長した姿に親御さんたちは気づいたはずです。

子どもたちの主体性を育てる取り組みとして今後も継続していきます。









朝のラジオ体操～下校後は宿題～夕食の準備…　忙しくても仲間との作業は楽しいな！